



## CTI ゲートウェイ プロファイル

CTI ゲートウェイ プロファイルのウィンドウを使用して、プライマリ サーバ、スタンバイ サーバ、プロファイルに関連付けられているユーザなど、CTI ゲートウェイ に関連する設定値を設定します。このウィンドウを使用して特定のプロファイルを検索し、個々の設定値を変更できます。

### CTI ゲートウェイ プロファイルの検索

ネットワークに CTI ゲートウェイ プロファイルが複数存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の CTI ゲートウェイ プロファイルを検索することができます。特定の CTI ゲートウェイ プロファイルを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザ セッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索 / 一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

#### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [CTI ゲートウェイプロファイル] の順に選択します。

[CTI ゲートウェイプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List CTI Gateway Profiles)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

**ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.28-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## CTI ゲートウェイ プロファイルの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースで CTI ゲートウェイ プロファイルを追加または更新する方法について説明します。

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれかのタスクを実行します。

- CTI ゲートウェイ プロファイルを追加するには、[アプリケーション] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [CTI ゲートウェイプロファイル] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- CTI ゲートウェイ プロファイルを更新するには、P.28-1 の「CTI ゲートウェイ プロファイルの検索」の手順に従ってプロファイルを検索します。

[CTI ゲートウェイプロファイルの設定 (CTI Gateway Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 表 28-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

**ステップ 3** ユーザと CTI ゲートウェイ プロファイルを関連付けるには、[プロフィールにユーザを追加] をクリックします。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 5](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

**ステップ 5** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。

**ステップ 6** レコードのリストから、CTI ゲートウェイ プロファイルに追加するユーザをクリックするか、または [すべてを選択] をクリックします。

**ステップ 7** ユーザを CTI ゲートウェイ プロファイルへ追加するには、[選択項目の追加] をクリックします。

**ステップ 8** [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウで、[閉じる] をクリックします。

- ステップ 9** データを保存して CTI ゲートウェイ プロファイルをデータベースに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[保存]** アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される **[保存]** ボタンをクリックします）。

#### 追加情報

P.28-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## CTI ゲートウェイ プロファイルの設定値

表 28-1 で、CTI ゲートウェイ プロファイルの設定パラメータについて説明します。関連する手順については、P.28-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

表 28-1 CTI ゲートウェイ プロファイルの設定パラメータ

フィールド	説明
名前	このパラメータは、CTI ゲートウェイ プロファイルの名前を指定します。
説明	このパラメータは、CTI ゲートウェイ プロファイルの一般的な説明を示します。
プライマリ CTI ゲートウェイサーバ (Primary CTI Gateway Server)	このパラメータは、プライマリ CTI ゲートウェイ サーバを指定します。ドロップダウン リストで、定義済の CTI ゲートウェイ サーバから選択できます。
バックアップ CTI ゲートウェイサーバ (Backup CTI Gateway Server)	このパラメータは、バックアップ CTI ゲートウェイ サーバを指定します。ドロップダウン リストで、定義済の CTI ゲートウェイ サーバから選択できます。バックアップ CTI ゲートウェイ サーバは 2 つ指定できます。

## CTI ゲートウェイ プロファイルの削除

この項では、CTI ゲートウェイ プロファイルの削除方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** P.28-1 の「[CTI ゲートウェイ プロファイルの検索](#)」の手順に従い CTI ゲートウェイ プロファイルを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する CTI ゲートウェイ プロファイルを選択します。
- ステップ 3** CTI ゲートウェイ プロファイルを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします)。

CTI ゲートウェイ プロファイルが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。CTI ゲートウェイ プロファイルが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

### 追加情報

P.28-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [CTI ゲートウェイ プロファイルの検索 \(P.28-1\)](#)
- [CTI ゲートウェイ プロファイルの設定 \(P.28-3\)](#)
- [CTI ゲートウェイ プロファイルの削除 \(P.28-5\)](#)

